

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県 東松山市

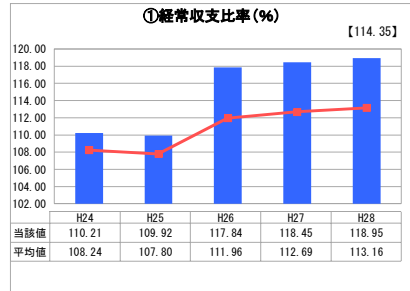
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	90.22	99.85	1,890	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
89,953	65.35	1,376.48
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
89,817	65.69	1,367.29

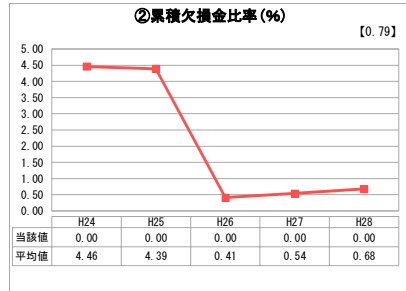
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

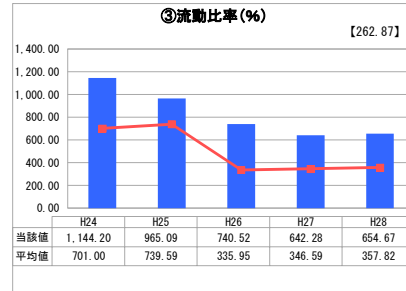
## 1. 経営の健全性・効率性



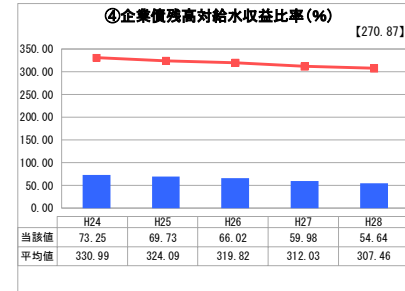
「経常損益」



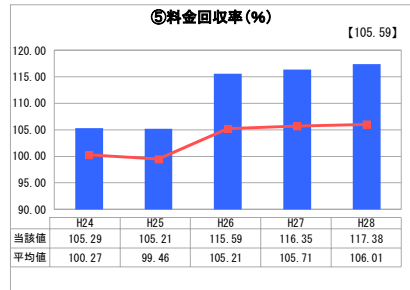
「累積欠損」



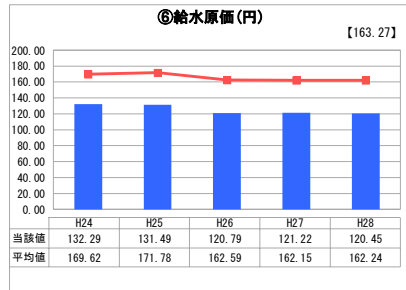
「支払能力」



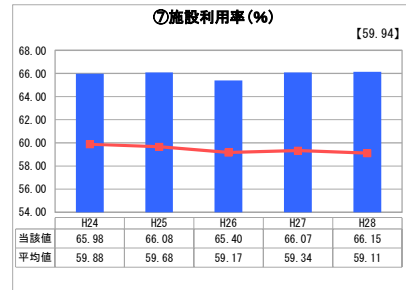
「債務残高」



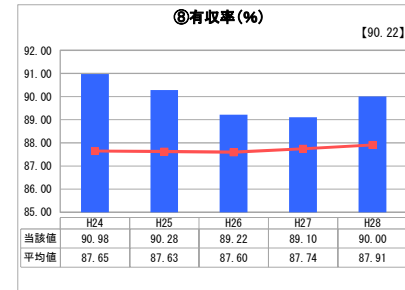
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

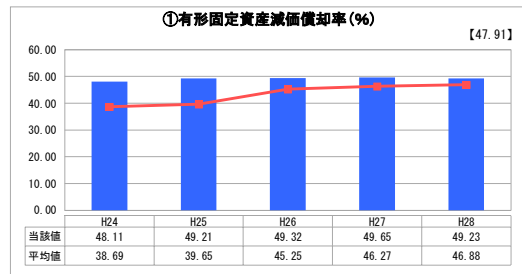


「施設の効率性」

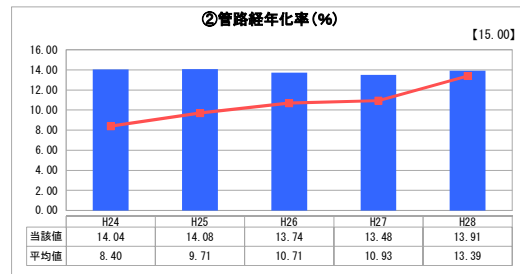


「供給した配水量の効率性」

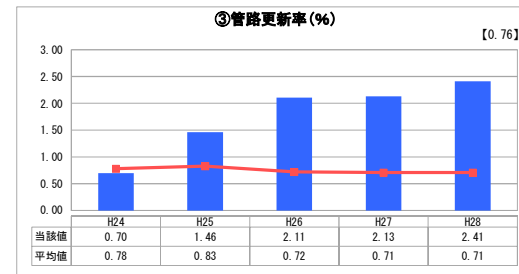
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
単年度の収支が黒字であることを示す100%を上回っており、類似団体の平均値を上回っている。

②累積欠損金比率  
該当なし

③流動比率  
1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%を大きく上回っている。管路の更新を進めており、現金といった流動資産が減少傾向である。

④企業債残高対給水収益比率  
類似団体の平均値を下回っている。

⑤料金回収率  
給水に係る費用が、給水収益で賄えていることを示す100%を上回っており、類似団体の平均値を上回っている。

⑥給水原価  
類似団体の平均値を下回っている。  
※分析表では、給水原価を求めるにあたり、経常費用から「長期前受金戻入」を差し引いているため、市公表の給水原価(135.28円)と異なる。また、⑤料金回収率の分母も同様である。

⑦施設利用率  
一般的には高い数値であることが望まれ、類似団体の平均値を上回っている。

⑧有収率  
類似団体の平均値を上回っている。老朽管更新の成果により、平成28年度は減少傾向に歯止めがかかっている。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、類似団体の平均値を上回っている。また、高止まり傾向である。

②管路経年化率  
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、類似団体の平均値を上回っているが、平均が上昇傾向の中、概ね横ばいで推移している。

③管路更新率  
当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、平成25年度より類似団体の平均値を上回っている。

## 全体総括

経営の健全性・効率性の分析から、当水道事業は適正な事業運営であると判断できるものの、有収率は平成27年まで減少傾向であり、将来の収益を確保に対する懸念材料である。老朽化の状況から分かるように、施設の老朽化が進んで来ており、当水道事業では管路更新を積極的に実施し、安定給水の継続及び有収率の向上のための事業展開を行っている。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。